

(毎月10日・25日発行)

復興ニュース

100号 発行：NPO 法人夢ネット大船渡
2013年 大船渡市盛町字内の目14-15
10月25日 HP「夢ネット大船渡」と検索を
メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

復興ニュース創刊100号記念

いつも『復興ニュース』ご愛読、誠にありがとうございます！！

みなさまのおかげで、復興ニュースは100号を迎えることができました。

* 東日本大震災から1か月後の2011年4月11日創刊以来、気仙地域の仮設住宅などに配布してきた「復興ニュース」が、今号でめでたく100号を迎えました。

これもひとえに、ご愛読、ご支援くださった皆さまのおかげです。

本当に、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

《みなさんのご協力に感謝》 NPO 法人夢ネット大船渡 理事長 岩城恭治



創刊号は気仙市民復興連絡会の事業を多くの市民活動団体へお知らせし、被災者支援活動を盛り上げたいとの願いで発行しました。炊き出しや思い出探し、県内外支援団体の活動を紹介しよう、被災者の要望や意見も掲載したいとの思いが広がり、現在のような編集になりました。

復興ニュース発行が2年半も続き100号となりますと、今後も発行を続け被災地の歴史を記録し、後世へ残す資料となる復興ニュースにしたいと思うようになりました。今後のご協力を心からお願いしお礼の言葉といたします。

《お祝いのお言葉いただきました♪》 元復興ニュース取材・編集担当者 山口奈美さん

このたびは「復興ニュース」100号発行おめでとうございます。私は、復興ニュース第17号から第40号を担当し、以降は地元雇用の方に引き継ぎさせていただいたのですが、絶えることなく発行し続けてこられたことをとても嬉しく思っています。

～復興ニュース担当時の思い出～

私が担当していた当時、復興ニュースの印刷はカメラアホールで行っていましたが、機器トラブルで印刷できなくなることもありました。毎週火・金曜日の発行で日々取材に追われ、編集は発行日前日夜中に仕上げ、印刷は発行日当日にすることが定例になってしまっていたので、当日の印刷機器トラブルには頭を抱えてしまいましたが、そんなとき助けてくれたのが地元のパチンコ店でした。正直驚きましたが、無償で2000枚もの印刷をさせていただいて難を逃れたのです。また、住田町役場からも『役場の印刷機も自由に使ってください』と連絡をいただき、こちらも無償で貸していただき大変助かりました。



配布に関しても、当初はひとりで行っていて限界を感じたため、紙面上で配布ボランティアさんを募集したところ、『自分が住んでいる仮設だけなら…』と申し出てくださる方が何人もいて助けていただくことができました。

～私は気仙が大好き～

担当最後となった第40号の文末でも書かせていただきましたが、私は気仙が大好きです。あれから10数回気仙にお邪魔していますが、これからもみなさんに寄り添い、寄り添われていたいです…(笑)。知らない土地で親切にくださったみなさんに感謝していますし、恩返ししていかなければと思っています。ありがとうございました。そして、これからも宜しくお願い致します。



89号からいわて復興応援隊の河野が取材・編集を担当。



【復興ニュース発行の助成をいただいた団体さま】

- ☆中央共同募金会さま
- ☆日本NPOセンターさま
- ☆東北ろうきんさま
- ☆岩手県福祉基金さま



そしてついに、10月25日 祝100号!!

陸前高田市要谷仮設の熊谷さん(80歳女性) 自作 「仮設ドンパン節」の歌詞を紹介します

「東日本大震災で家は全壊。泣くことは多いけど、世間の大きな助けで癒されて、なんとか今生きています。隣近所とは和気あいあい、助け合いながら仲よく暮らしています。仕事を奪われて、ぼんやり、秋田県民謡「ドンパン節」の替え歌を作ってみました」との手紙と今回の歌を送って下さった熊谷さん。素晴らしい歌詞、心に沁み入ります。

☆緑の返し部分

ドンパンパンパン
ドンパンパンパン
ドンパンパンパン
ドンパンパンパン
ドンパンパンパン
ドンパンパンパン

① 朝霧晴れゆく 仮設窓
笑顔のあいさつ それぞれに
今日も一日 無事祈る

のぼる朝日に 手を合わす ☆緑り返し

② 仮設のベンチは にぎやかで
身の上話や 孫ばなし
おどけた話に 花が咲き

今日も仮設は 天気晴れ ☆緑り返し

③ おしゃべり仮設の もの作り
手先を使って 知恵絞り
拾った命を 大切に

老いも若きも 助け合い ☆緑り返し

④ 雨降る夜も 風の日も
津波に追われた 者同志
大きな絆で 支えられ

感謝・感謝の 仮設宿 ☆緑り返し

⑤ 夢中で過ごした 年・月の
思いはひとつ 夢ひとつ
津波の怖さを 後の世に

大事に伝えて 語り継ぐ ☆緑り返し



受講者募集!

◎介護職員初任者研修

受講料・テキスト代は無料。定員20人
【日時】11月19日(火)~12月20日(金) 全24日間 土日除く
【場所】陸前高田市シルバーワークプラザ
【対象】就職を希望する55歳以上の人で、ハローワークへの求職登録者
【申し込み先】ハローワーク大船渡 (TEL0192-27-4165)

◎夢ネット大船渡主催、パソコン教室

やさしく・ていねい・わかるまで。先着10人
【開講日】毎週木または金曜日、月4回。13:30~16:00
【受講料】2000円(テキスト代別途)
【申し込み先】npoyumenet@bz01.plala.or.jp
【問い合わせ先】090-7078-5150(担当・西村)

復興ニュースをご支援してくださっている皆さま



【復興ニュース配布ボランティア、カッコ内は配布先、順不同】
梅澤孝一さま（太田、平林、山岸仮設等）松沢登美子さま（大豆沢仮設等）吉田カツ子さま（崎浜、杉下仮設）カリタス大船渡ベースさま（地の森仮設等）平山睦子さま（永沢仮設）西村睦子さま（鳥沢仮設）菅野孝子さま（二日市仮設）米崎小仮設自治会さま（米崎小仮設）村上時男さま（米崎中仮設）村上トキ子さま（滝の里仮設）松野保子さま（竹駒小仮設）佐藤忍さま（上壺仮設）佐々木映子さま（下壺仮設）村上キクエさま（細根沢仮設）佐藤智子さま（相川仮設）千葉貞子さま（諏訪仮設）橋詰ユキエさま（高田高校第2グラウンド仮設）佐々木のり子さま（西和野仮設）戸羽茂夫さま（財当仮設）千葉三七子さま（三日市仮設）

【復興ニュース配布場所一覧 敬称略、順不同】

《陸前高田市》陸前高田市役所、陸前高田市社会福祉協議会、仙華園、産直はまなす、薬王堂鳴石店、ローソン大隅店、竹駒店、ファミリーマート竹駒町店、マイヤ滝の里店、さいとう製菓滝の里店、採れたてランド、ナインマート、ふれあい市場、産直センターリプル、川の駅よこた、ひまわりハウス、P@CT（パクト）

《住田町》住田町役場、住田町社会福祉協議会

《大船渡市》大船渡市役所、大船渡地区合同庁舎、リアスホール、福祉の里センター、Y・Sセンター、大船渡ボランティアセンター、薬王堂盛店、大船渡店、ダイマル洋裁店、佐々木荒物店、マイヤ大船渡インター店、赤崎店、サンリア、喫茶ロリアン、カメラアホール、さいとう製菓、ローソン大船渡越喜来店、山本車体、夢商店街復興地図センター、三鉄盛駅、道の駅さんりく、三陸町観光センター、綾里駅物産観光センター「銀河」、カレーハウス Kojika

ふれあい待合室 来場者5万人達成☆



10月15日、三鉄ふれあい待合室の来場者が5万人を突破しました。来場5万人目のお客様は奥州市前沢区の安部ヨコさん（80）。安部さんには、駅長の熊谷教子さんから花束と三鉄グッズが贈られました。

安部さんはひ孫に会いに大船渡を訪れたとのこと。「ビックリしたけど、うれしい。ありがとうございます」と喜んでいらっしゃいました。また、大船渡に遊びに来てください！！

■三鉄盛駅ふれあい待合室からのご案内 TEL/fax (0192) 47-3542

- ◆無料法律相談 11月16日（土）14:00～16:00 申し込み必要
11月17日（日）10:00～12:00 仮設住宅へも出張します
- ◆駅からウオーク 11月16日（土）綾里駅から白浜海岸まで歩きます。
参加費450円。11:30発。13日締め切り
- ◆駅弁列車 11月17日（日）参加費2000円 11:30盛駅発。13日締め切り

～皆さまへ～

復興ニュース編集部では、これからも気仙地域の皆様に役立ち、楽しんでいただける情報誌を目指して参ります。どうぞ、よろしくご愛読のほどお願い申し上げます。

編集部一同

ご意見・ご感想をお寄せください。

◎どなたでも応募可能です。◎電話、メール、封書でお寄せ下さい。
NPO 法人夢ネット大船渡 *大船渡市盛町字内の目 14-15
*TEL/fax 47-3271 *メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

この復興ニュースは、岩手県福祉基金の助成を受けています。